

＼ 子育て世代の皆さまの声をお聞かせください ／

今治版ネウボラの中核を担う拠点施設の整備構想に関する

WEBアンケートに ご協力をお願いします

今治市では、こどもが真ん中の子育て支援を包括的に行うことを目指し、妊娠期から18歳までの子どもがいるすべての家庭の相談、情報発信、手続きなどがワンストップとなる子育て支援の体制、今治版ネウボラの取組がスタートしたところです。

◎ネウボラ (neuvola) とは？

フィンランド語で「アドバイスの場所、相談の場所」という意味。
フィンランドでは、かかりつけ保健師を中心に、妊娠期から就学前までの子どもがいるすべての家庭を切れ目なくサポートしており、そうした支援制度や支援拠点のことを指します。

この「今治版ネウボラ」の更なる推進を図るための将来構想として、子育て世代の誰もが気軽に訪れ子どもも大人も安心して過ごせる、今治版ネウボラの中核を担う拠点施設の整備について調査研究をしています。



(施設イメージ・東京都渋谷区「COしぶや」)

相談

情報
発信

支援



付加価値機能

遊び 学び 交流
くつろぎ etc...

アンケート回答先

右記のQRコードを読みとるか
URLを入力しアクセスしてください。

<https://logoform.jp/form/7LMq/153733>



※本アンケートはおひとり1回の回答となっています。再度のご回答はできませんのでご了承ください。

回答期限 令和4年10月30日

今治市 ネウボラ政策課
TEL : 0898-36-1553

★本アンケートは子育て支援に関連するニーズを収集するためのもので、無記名での回答となります。ご理解とご協力をお願いします。

施設の付加価値機能として想定される、以下の各機能・サービスについて、皆さんの考えを教えてください。

問5 子育て広場として必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

(※ぱりっこ広場などの未就園の乳幼児と保護者の遊び場)

- ・ のびのびと過ごせる『もっと広いスペース』
- ・ 知育玩具などの『おもちゃの充実』
- ・ 小さい子でも楽しめる『体を動かせる遊具の充実』
- ・ 水遊びや砂遊びなどの『外遊びもできるテラス』
- ・ 図書館のような『絵本や子ども向けの本が充実』
- ・ わかりやすくスムーズに『子育てに関する必要な情報を得られる』仕組み
- ・ 利用年齢の拡充と小さい子が安全に遊べる仕組み（長期休みに利用できない）
- ・ 買い物などの用事で『短時間の一時預かり』をしてくれるサービスがある
- ・ 保護者同士が子どもを見守りながらお茶もできる『交流スペース』
- ・ ちょっとしたことでも、『周りに聞かれずに相談できるブース』がある
- ・ プライバシーに配慮された『トイレや授乳室』

【自由意見】

()

問6 屋内の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・ 天候に左右されず思いきり遊べる『屋内大型遊具』（ジャングルジムなど）
- ・ 雨の日でも楽しめる『屋内砂場』（屋外より清潔に維持できる）
- ・ ぬくもりや癒しを感じ楽しめる『木のおもちゃ、遊具』
- ・ ボードゲームの貸出やeゲームスペースなど『様々な遊びが楽しめる場所』
- ・ 体を動かせる『アスレチック系の施設』（トランポリン、ボルダリング等）
- ・ 屋内スポーツを楽しめる『体育スペース』
- ・ 驚きや学びを体験する『デジタル要素を盛り込んだアトラクション』
- ・ 地場産業テーマや地元出身アーティストデザインの『今治らしいシンボリックな遊具』

- ・障がいのある子どもやその家族で遊べる『専用のスペースや遊具』
- ・機械展示やデジタルを活用した『地場産業を知る、親しむ場所』
- ・子ども参加でデザインや地場産の瓦で装飾するなど『地域のみんなで作る場所』
- ・親子コンサートなど、幼児期から音楽やアートに触れられる『文化ホール』
- ・思い思いの空間（小さな家のような空間や隠れて遊べる狭い場所など）
- ・乳幼児（0歳～3歳まで）の専用スペース（大きい子と一緒にでは危ない）

【自由意見】

()

問7 屋外の遊び場やスペース利用について、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・思いきり遊べる『大型複合遊具』
- ・体を動かせる遊具（トランポリン、ボルダリング等）
- ・施設を回る『トリムコース』
- ・地場産業テーマや地元出身アーティストデザインの『今治らしいシンボリックな遊具』
- ・乳幼児（0歳～3歳まで）の専用スペース（大きい子と一緒にでは危ない）
- ・障がいのある子どもやその家族で遊べる『専用のスペースや遊具』
- ・生き物に触れられる場所（動物の飼育スペースなど）
- ・ストリート系の遊び場（スケボーパークやバスケットゴールなど）
- ・小さい子どもも安心して『水遊びができる場所』（小川や噴水）
- ・乗物体験コース（ストライダー、電動自動車、電動バギーなど）
- ・雨が降っても大丈夫な『全天候型の大屋根』
- ・マルシェや屋台が設置できるスペース
- ・子ども参加でデザインや地場産の瓦で装飾するなど『地域のみんなで作る場所』
- ・収穫体験ができる畑
- ・自然を感じることができる『屋上庭園』
- ・今治市内を見渡すことができる『屋上展望台』
- ・安全に散歩ができる『屋上トリムコース』

【自由意見】

()

問8 今治版ネウボラは妊娠から18歳の子どものいる家庭まで、切れ目なく支援しようとする取組です。施設には、子育て世代の親子が過ごせるだけでなく、中高生なども気楽に訪れる、多目的な場所（居場所）についても必要と考えています。イメージに近いもの、必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・ 絵具や画用紙などが揃った夏休みの宿題ができる工作室
- ・ 親子で料理が楽しめる調理室
- ・ ダンススタジオ（練習ができる大きな鏡のある部屋）
- ・ 音楽スタジオ（楽器の練習ができる防音機能）
- ・ 工具が借りられるDIYルーム（親子でワークショップ）
- ・ 動画編集や3Dプリンターなどデジタル環境がある作業室
- ・ 静かに勉強できる自習室
- ・ 友達としゃべりながら過ごせるフリースペース
- ・ 親子、グループで区分利用できる貸しスペース
- ・ ごろ寝、お昼寝できるリラックススペース

【自由意見】

()

問9 憩い・交流の場として飲食（カフェ）スペースを考えています。必要と考える項目を以下より2つ選んでください。

- ・ 持ち込み可能なイートインスペース（食事の提供までは不要）
- ・ 離乳食や紙おむつなども購入できる自動販売機で軽食を提供
- ・ お昼を過ごせる子ども向けの食事も提供するカフェ（イートイン・テイクアウト）
- ・ 地産地消や学校給食メニューのあるカフェ（地域のことも知れる場所）
- ・ マルシェ（地元の野菜、パン、総菜など販売スペース）のようなものが併設
- ・ フードコートのように、色々な選択肢がある
- ・ 周りの目を気にせず、子どもとゆっくり食事ができる
- ・ 目の届く範囲に子どもの遊び場があり、保護者が飲食しながらゆっくりできる
- ・ 夕方にも営業され子どもに無料で食事が提供される（こども食堂）
- ・ 屋外（軒下スペース）で飲食できる
- ・ 中高生の居場所として飲食ができるスペース

【その他、ご意見等がありましたら記入してください。】

